



かわにし市議会だより

市花りんどう

平成22年(2010年)
11月1日
No.178

発行：川西市議会
編集：広報委員会
TEL 072-740-1255
FAX 072-740-1318

ホームページアドレス <http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

市立幼稚園の設置・管理条例改正案を審議

中央北地区 土地区画整理事業施行条例の制定案なども



平成22年第4回定例会市議会は、去る8月24日に招集され、9月16日に24日間の会期を終えました。

この定例会市議会では、市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正や阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業の施行に関する条例制定案をはじめ、公営企業（水道・病院・下水道事業）の会計決算など、合計23の案件を審議しました。

また、9月13日に追加上程された一般・特別会計の決算認定案件（7議案）は、継続審査のうえ、慎重に審査を加えることとしました。

第4回市議会（定例会）日程	第1日（8月24日） ○会期の決定 ○平成21年度川西市水道事業会計予算継続費精算報告〔1件〕⇒報告 ○平成21年度水道事業会計決算認定など〔11議案〕⇒市長提案説明 ○まちづくり調査特別委員会の調査事項の変更〔1議案〕⇒表決 （議案熟読）
	第2日（8月27日） ○平成21年度水道事業会計決算認定など〔11議案〕⇒質疑・委員会付託 ○請願〔2件〕⇒委員会付託 ○一般質問
	第3日（8月30日） ○一般質問
	第4日（8月31日） ○一般質問 （常任委員会・決算特別委員会審査）
	第5日（9月13日） ○平成21年度川西市一般会計予算継続費精算報告〔1件〕⇒報告 ○平成21年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒市長提案説明
	第6日（9月16日） ○平成21年度一般・特別会計決算認定〔7議案〕⇒質疑・付託 （決算特別委員会審査）・・・継続審査 ○平成21年度水道事業会計決算認定など〔11議案〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決 ○請願〔2件〕⇒各委員長報告・質疑・討論・表決

ふたば幼稚園廃園をめぐる活発な論議 ～ニーズに応じた幼児教育環境の充実を～

この9月定例会では、「市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部改正案」を審議しました。

これは、少子化や公立幼稚園における保育ニーズの多様化などを受け、平成24年4月1日から、市立ふたば幼稚園（加茂1丁目地内）を廃園し、市立加茂幼稚園（同地内）に統合するとともに、本市の公立幼稚園で初となる3歳児保育を加茂幼稚園で実施しようとするものです。

ふたば幼稚園の廃園は、南部

地域における幼児の教育環境に大きな影響を与えることから、保護者や地域住民の理解を得る取り組みなどについて活発な質疑が交わされました。

次代を担う子どもたちのため、保育ニーズに応じた幼児教育環境の充実に努められるとともに、公立幼稚園の活性化に期待します。

また、この定例会では、「阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業の施行に関する条例制定案」についても審

9月定例会

議しました。

本案は、本市の重要課題とされる中央北地区の土地区画整理事業について、都市計画決定がなされたことから、今後事業を進めるための規程を条例として定めるものです。

その審査では、市有地を含む保留地（地区内の地権者から提供を受け、売却して事業費に充てる土地）の売却方法や土地区画整理審議会委員の選出方法や任期などについて、活発に論議されました。

みんなの市議会

No.68

去る10月17日、任期満了に伴う市議会議員選挙が行われ、市民の皆さんの代表として、26人の議員が選ばれました。

そこで今回は、市議会議員として活動できる期間、いわゆる「任期」と法律や条例などで定められている「定数」について、詳しく紹介します。

議員の任期と定数

現在、わが国では、地方自治体の運営は、住民の直接選挙によって選ばれた首長と議員で行う『間接民主制』が採用されています。

つまり、議員は、住民の代表として、その意思を行政施策等に反映するとともに、行政運営をチェックする役割を担っています。

そのため、議員の任期や定数を考える場合、このような役割を念頭に置く必要があります。

議員の任期
議員の任期については、民主制の原則からすれば、任期をできるだけ短くし、適時的確に住民の意見を代弁する議員を議会に送ることが好ましいといった考え方があります。

その一方で、頻繁に選挙が行われることで、議会運営はもとより、自治体の安定運営が阻害されるなど、あらゆる面で支障を来すことも考えられます。

このようなことを総合的に

考慮し、地方自治法では、議員の任期を「4年」と定めています。

議員の定数
現在、地方自治法では、議員定数は条例で定めることとされています。⇒条例定数

また、この法律では、自治体の人口規模に応じて、議員定数の上限が定められています。（人口10万以上20万未満の市は、34人）⇒法定数

川西市議会では、市制施行後の選挙以降、議員定数を30

人に据え置いてきましたが、このたびの選挙から条例で、4人を削減し、26人に定めています。

近年、行政経費の節減などの要請により、国や地方の議員数削減を求める声が上がっています。

しかし、住民のさまざまな意見を吸収し、行政に反映させるには、人口などに応じた議員数が必要であるとも言えます。

したがって、議員定数は、議員の役割である「代表性・多元性」といった面と「経済性」の両面を考慮し、決定していく必要があります。

要旨 一般質問

企画政策

市花・市木をササリンドウやエドヒガンに変更する考えは

議員 本市では、昭和43年に市花をリンドウ、市木をサクラと決定したのち、40年以上が経過している。

現在は、自然や環境問題への市民の関心も高く、川西らしさをPRするためにも、市花・市木を本市にゆかりのあるササリンドウやエドヒガンに変更し、保全する考えはないか。

企画財政部長 エドヒガンは、黒川地区や水明台地区などで生育してい

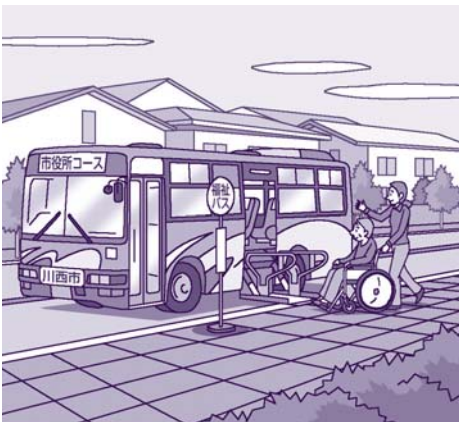
るサクラの貴重な野生種である。

また、リンドウは、都市化等の影響を受け、自生地が減少していることから、本市では、昨年度から育成に取り組んでいる。

これらは、自然豊かな川西を象徴するオンリーワンの資源であり、市民に愛され、親しまれる位置付けとなるよう、市花・市木の見直しも含めて検討していきたい。

企画政策

交通弱者への対策 福祉バス運行の考え聞く



議員 近隣市では、無料の福祉バスを市内で運行し、高齢者など交通弱者への対策を図っている。

本市では、市立川西病院への有料のコミュニティバス運行を検討した経過があるが、この発想を転換し、福祉バス運行を検討してはどうか。

企画財政部長 本市が行った公共交通の市民アンケート結果では、「バス・鉄道の乗り換えしやすさの向上」

のニーズが最も高く、「地域内を循環するバス」、「市内公共施設を巡回するバス」の順となっている。

これらから推察すると、既存のバス・鉄道との連携を図り、狭い幅員でも通行可能な車両による需要応答型の運行が望まれており、今後は、地域と協働で取り組む交通施策と、市の福祉施策の観点から、持続可能な交通施策の検討を進めたい。

まちづくり

中央北地区 土地区画整理事業 川西BioTown構想との関連性は

議員 本市の中央北地区においては、土地区画整理事業を実施すると都市計画決定が、7月30日になされている。

この地区の整備に係る土地利用については、平成20年度に「ホテルがとぶまち 川西BioTown（ビオタウン）構想」が策定されているが、土地区画整理事業とこの土地利用基本

企画財政

公共施設の老朽化 施設管理の考え方など聞く

議員 本市では、昭和45年ごろの人口急増により、道路や学校など、多くの公共施設を整備されているが、老朽化による更新で、財政を圧迫することが予想される。

そこで、先進市で効率的な施設管理の概念として導入されているアセットマネジメントに対する考え方のほか、本市の公共施設全体の維持・更新費用について伺いたい。

企画財政部長 アセットマネジメントは、財政負担の平準化など、施設の総合管理を目指すものと認識しているが、市では、まず現有施設の長寿命化を図り、公共施設の保全計画の策定が必要であると考えます。

なお、施設全体の維持・更新費用は、現在のところ把握していないが、昨年度から、維持・補修費として、10年間で49億円を計画している。

一般質問は、本会議第2日から第4日の3日間にわたり行われ、15名の議員が40項目について質問しました。

ここでは、そのうち15項目について、質問と答弁の要旨を掲載しています。そのほかの質問項目は、下段の「一般質問項目(掲載分を除く)」をご参照ください。

詳しい内容は、11月下旬に発行予定の会議録でご覧いただけます。会議録は、市議会ホームページにも掲載しますので、ご利用ください。

企画政策

公開事業レビュー 事業総括と今後の方針聞く

議員 本市では、去る7月31日と8月1日に公開事業レビューが初めて開催された。

これは、市事業の課題や現状を市民に伝え、理解の浸透とともに、多角的・客観的な評価により、市民と行政の協働を図るきっかけとする取り組みであるが、この事業の総括と今後の実施方針を伺いたい。

企画財政部長 公開事業レビューでの議論は、新鮮であった反面、準備期間の不足を感じる部分があった。

しかし、学識経験

者や市民評価者からの意見は、効果的な事業実施に向け参考になるものであり、今後、各担当で事業のあり方などについて検討を加えていきたい。

また、今後の実施方針については、他の事業による市民参画との整合性を考慮し、検討していく考えである。



まちづくり

本市のまちづくり 市長の考えを聞く

議員 市長は市の経営者であり、市の成長が鈍らないよう、対策を講じるのが仕事であると考えます。

そのためには、中央北地区で行わ

れる開発のように、将来の本市の繁栄を見通した計画が必要であると考えるが、本市のまちづくりをどのような方向に導こうとしているのか市長の考えを伺いたい。

市長 地方分権が進み、まちづくりは、個性や特色が発揮される時代であることから、川西らしさやオンリーワンにこだわる必要がある。

また、まちの活性化には、市民や事業者等の民間の力を活用する意識が必要であり、行政には、これを調整する役割がある。

なお、中央北地区では、川西に来て良かったと感じてもらえるまちづくりをしていくべきと考えている。

まちづくり

「なげきの丘」公園整備 計画の進捗状況聞く

議員 市南部には、通称「なげきの丘」と呼ばれ、大阪国際空港の航空機騒音被害による移転補償跡地が点在する地域を望む丘がある。

現在、この丘にある移転補償跡地では、公園の整備計画が進められているが、その進捗状況を伺いたい。

まちづくり部長 市では、関係団体と協議・策定した、川西市南部地域

整備計画（案）に基づき、移転補償跡地の有効活用を推進している。

なげきの丘を活用した公園整備については、国に移転補償跡地の払い下げを求め、協議を進めているが、具体的な時期等は決まっていない。

今後は、地域住民の要望も踏まえ、多目的広場などを備えた街区公園の整備を実現したいと考えている。

本会議・委員会開催状況

●●●●●● 8 月 ●●●●●●

16日 ○文教公企常任委員協議会(川西市立加茂幼稚園及び川西市立ふたば幼稚園の統廃合並びに3歳児保育の実施について)

17日 ○議会運営委員会

24日 ○第4回市議会定例会(招集日)

○議会運営委員会

27日 ○第4回市議会定例会(第2日)

30日 ○第4回市議会定例会(第3日)

31日 ○第4回市議会定例会(第4日)

●●●●●● 9 月 ●●●●●●

1日 ○総務常任委員会

○広域ごみ処理施設調査特別委員会(平成22年第2回猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会(定例会)議案の報告についてなど)

2日 ○文教公企常任委員会

○文教公企常任委員協議会(市立川西病院事業経営改革プランの実行状況について)

3日 ○厚生経済常任委員会

○厚生経済常任委員協議会(川西市社会福祉協議会と川西市社会福祉事業団の合併について)

6日 ○建設常任委員会

○建設常任委員協議会(平野、多田、鼓が滝自転車等駐車場の整備、管理運営についてなど)

7日 ○公営企業会計決算審査特別委員会

9日 ○議会運営委員会

13日 ○第4回市議会定例会(第5日)
○まちづくり調査特別委員会(中央北地区整備事業に伴う都市計画決定についてなど)

16日 ○第4回市議会定例会(最終日)

○一般会計決算審査特別委員会

○特別会計決算審査特別委員会

21日 ○一般会計決算審査特別委員会

22日 ○一般会計決算審査特別委員会

24日 ○一般会計決算審査特別委員会

27日 ○特別会計決算審査特別委員会

●●●●●● 10 月 ●●●●●●

7日 ○第5回市議会臨時会(招集日)

21日 ○広報委員会

28日 ○議員初総会

第5回臨時市議会

第5回臨時市議会が、10月7日に1日間の会期で開かれました。

この臨時会では、第4回定例会で閉会中の継続審査とされていた平成21年度一般会計・特別会計決算について審議し、いずれも決算書のとおり認定しています。

教育 小学校などの空き教室 子育て拠点開設の考え問う

議員 近年、子育て環境は、核家族化や地域のつながりの希薄化により、経験の共有や悩みなどを相談することが難しくなってきている。

そこで、幼稚園や小学校の空き教室などを利用し、地域での子育て相談や情報提供ができる常設の拠点施設を開設する考えはないか。

教育振興部長 公立幼稚園では、園

庭開放や空き教室での交流保育等を実施しており、子育てしやすい地域づくりの拠点として、その役割を関係機関と協議・検討していきたい。

小学校の空き教室は、全校合わせて41あるが、少人数授業などにより、今後使用する必要が考えられるため、学校運営に支障を来さない範囲で、その開放を検討していきたい。

福祉 高齢者の入浴サービス 事業存続の見解示せ

議員 本市の老人福祉センターは、高齢者の健康増進を図ることなどを目的に3カ所に設置されている。

この施設の利用状況を伺いたい。
また、一の鳥居・緑台同センターの入浴サービスや、公衆浴場を利用したふれあい入浴事業は、廃止を予定されていたが、存続を求める請願を議会が採択したため、継続実施さ

れているが、市の見解を伺いたい。

健康福祉部長 21年度では、3施設で延べ8万人を超える利用があり、高齢者の生きがいづくり等に寄与していると考えます。

入浴サービス等は、設備投資や利用者が特定しているなどの課題が多く、公開事業レビュー等での意見を参考にし、今後の実施を検討したい。

総務 地デジ化への期限迫る 本市の対応方針聞く

議員 地上デジタルテレビ放送への完全移行が、1年以内に迫っている。今やテレビは、情報伝達に不可欠なライフラインであるが、地デジ化への移行は、低所得者への対応や受信障害など様々な問題がある。

そこで、本市の対応方針について伺いたい。

総務部長 低所得者への対応として、

生活保護の受給世帯などには、総務省から、既存のアナログテレビが利用できる簡易受信機の無償給付が行われている。

また、ビル陰による受信障害の問題などには、総務省兵庫県テレビ受信支援センターへの相談等を案内しており、完全移行時に地デジ難民が生じないように対応していきたい。

環境衛生 斎場火葬炉の排出ガス 測定回数や結果の考え方問う

議員 本市の斎場（柳谷地内）は、昭和58年に竣工されたものの、火葬炉の排出ガスに対するダイオキシン類の測定は、平成13年度と21年度の2回しか行われていない。

そこで、この測定回数と結果に対する市の考え方を伺いたい。

美化推進部長 排出ガス測定については、頻度や回数などが法律で定められておらず、2回の測定は、周辺住宅が増加したことから、自主的に行ったもので、今後は、定期的な測定を行うよう努力していきたい。

また、排出ガス濃度も法律などの規制値がなく、測定結果の評価は困難であるが、窒素酸化物等の濃度は、国が示す標準偏差値と比べると平均的な値であり、ダイオキシン類濃度も指針値を下回っているため、適正な施設運営ができていると考える。



教育 デートＤＶの防止 プログラム学習導入の考えは

議員 デートＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）は、結婚していない男女間での体・言葉・態度による暴力とされており、この被害者や加害者にならないためには、子どもの頃から自尊感情や自己肯定感を身につけるべきである。

そこで、本市の中学校に、デートＤＶ防止に向けたプログラム学習を導入する考えについて伺いたい。

教育振興部長 本市の中学校では、デートＤＶに限定した指導は行っていないが、保健や道徳の授業で、生命・異性への尊重や相手を思いやる心のほか、困難や逆境に負けない強い心などの大切さを指導している。

今後も、生徒の発達段階を踏まえ、デートＤＶの防止も含め、良好な男女関係や男女共生のあり方を指導し、学習の充実に努めたいと考える。

福祉 国保事業特別会計 収支均衡への考え聞く

議員 国民健康保険事業特別会計の20年度決算では、一般会計からの繰入金のうち、法定外の繰り入れを廃止したことにより、実質的には、約1億8800万円の赤字となっている。

国保の運営協議会では、22年度保険税の税率改定の必要性が示されたものの、景気悪化を理由に、市は増税を断念したことから、赤字が拡大することは明白である。

そこで、今後の国保会計の収支均衡を図るための考えを伺いたい。

健康福祉部長 一般会計繰入金の一部廃止は、国保加入者と他制度の加入者とのバランスを保つためなどから、適正であったと考える。

しかし、国保税収納率の悪化や国庫負担金の減額に加え、増税を見送ったことに伴う赤字拡大については、多角的な検討が必要と考える。

環境衛生 ごみの戸別収集 拡大実施の考えただす

議員 市のごみ収集では、独り暮らしの高齢者等を対象に戸別に行うサポート収集が実施されている。

しかし、高齢化率の高さや働く人のライフスタイルの変化に加え、国崎クリーンセンターの稼働による分別収集の拡大により、地域でのごみ当番等の市民負担は増加している。

そこで、市全体での戸別収集化やサポート収集を拡大実施する考えについて伺いたい。

美化推進部長 戸別収集方式とステーション方式のごみ収集には、一長一短があるが、収集時間の遅延や経費増大などを考慮し、本市では、ステーション方式を採用している。



また、サポート収集は、近隣等の協力が得られないなどの諸条件に該当される方を対象としているが、当面は利用状況を見ていきたい。

環境衛生 ビン収集用コンテナの管理 地域に依頼する考えないか

議員 国崎クリーンセンターの稼働後は、市では主に収集業務を行っているが、ごみ関連経費をさらに縮減すべきであると考えます。

そこで、現在、市が業者委託により、配布・回収を行っているビン収集用コンテナの管理を各地域に依頼し、経費の削減を図るべきと考えるがどうか。

美化推進部長 コンテナの管理方法については、自治会へのアンケートやパブリックコメントにおいて、高齢化や保管場所確保の問題などから、地域での管理は難しいとの意見が多く出されている。

そのため、自主管理が比較的容易なマンションなどを除き、市が管理するものとしている。

受理した陳情

- 要望書（阪神福祉事業団「ななくさ育成園」建替えに際し、川西市に分散建設の誘致をすること等）
- 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情
- 加茂幼稚園とふたば幼稚園の統廃合に関する陳情書
- 加茂幼稚園とふたば幼稚園の統廃合に関する陳情書
- 精神障害者の医療費助成並びに施設利用に関する要望書

一般質問項目（掲載分を除く）

- 自治体のシステムについて
- 社会資本の老朽化への備えについて（50年以上が経過した公共施設の割合）
- 公開事業レビューについて（実施後における各事業担当部の感想と今後の考え方、対象とした30事業の選定基準、市議会の予算・決算審査との整合性、開催時期に対する考え）
- コミュニティバスの本格稼働について
- 福祉バスの運行について（先般実施した実証実験の総括、バス運行対策班の設置）
- 情報公開制度の運用について
- 自販機設置使用料のその後について
- 福祉・医療の総合相談窓口の設置やコーディネートできる職員を配置することについて
- 「虐待」「ＤＶ」通報時の緊急対応のあり方について
- 「引きこもり」の現状と対策について
- 老人福祉センターの現状と今後の課題について（施設の現状と老朽化対策、管理運営を地域主導へ転換する考え）
- 川西市高等技能訓練促進費事業について
- 子宮頸（けい）がん予防ワクチンへの補助について
- 川西市斎場における今後の計画について
- イチジク栽培を継続していくことについて（生産緑地の面積を維持・拡大することに対する市の考え方、今後も川西産のイチジクを広く栽培していくための方策）
- 中央北地区開発の資金計画について（30億円の市債発行、補償費、区画道路の延長と事業費、土地の売り払い、旧火打前処理場の処理、土地区画整理事業計画22.3ヘクタールから外れた地域住民・地権者への対応）
- 川西能勢口駅周辺のまちづくりについて
- ボール遊び禁止の公園について（この看板表示に至った経緯、「子どもの居場所」「子どもの遊び場」づくりの教育的視点、今後の公園整備計画）
- 「なげきの丘」公園について（市民にも広く周知できる広報活動）
- 久代4丁目合同宿舎用地の今後について
- 教育施策について
- 遠距離通学支援のあり方について
- 子どもへの暴力防止プログラム（CAP）の受講推進について（全ての小学校でCAPの受講ができるようにすること、幼稚園や保育所で幼児用CAPを導入する考え）
- 里山体験学習事業について（日本一の里山を社会教育ではなく学校教育に取り入れた視点、3年目にして出てきている課題とその克服）
- 市立川西病院の医師確保について

一般質問 発言議員

（発言順）

上馬 勇
安田 末廣
平岡 謙
住田由之輔
宮坂満貴子
津田加代子
久保 義孝
吉田 進
大矢根秀明
黒田 美智
小西佑佳子
多久和桂子
岩田 秀雄
大塚 寿夫
小山 敏明

常任委員会報告

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の買入れを可決 総務常任委員会

■災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車・I－A型の買入れについて
 本案は、南消防署に配備されている消防ポンプ自動車が、購入後15年を経過し老朽化しているほか、窒素酸化物の排出規制の対象となるため、買い替えようとするものである。

問 購入先を決める指名競争入札では、各社の入札額が、市の予定価格を超えたため、見積もり合わせの結果、予定価格と同額で購入しようとしているが、入札額と予定価格に大きな差が生じた理由を伺いたい。



介護保険事業会計補正予算を審議

認知症地域資源 ネットワーク構築経費を予算化 厚生経済常任委員会

■平成22年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）

問 本補正では、認知症地域資源ネットワーク構築事業委託料として、ホームページ用地域資源マップの作成等のため、288万8000円が予算化されようとしているが、このマップの作成目的や活用方法を伺いたい。

答 この事業は、高齢化が進む中で、認知症や独り暮らしの方が増加し、医療や介護など関係機関との連携強化が一層求められることから、県の委託を受け、取り組むものである。

地域資源マップには、医療機関や相談機関など、介護を受ける方や介護サービス事業者等が必要とする情報を掲載し、適宜内容を更新しながら

答 この差額の要因は、600リットルの水で約1万リットルの水と同等の消火性能を持つ消火泡圧縮吐出装置を積載していることや、新基準の排出ガス規制に対応するエンジン等を装備した車台に関し、市と各社の積算額に相違があったためである。

■平成22年度一般会計補正予算（第2回）＜分割付託＞

問 今回の補正では、豪雨で被災した市道の災害復旧事業費の財源として、限度額を680万円とする地方債が追加されようとしている。その利率を5%以内とする一方で、「ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後は、見直し後の利率」とのただし書きがあるが、利率決定の考え方について伺いたい。

答 この地方債の借り入れでは、10年後に利率を見直すことになっており、ただし書きは、利率を見直した場合、その時点の利率が適用されるという趣旨である。
 本補正では、現在の利率と見直し後の利率の双方を5%以内とすることを定めようとするものである。

ら利用しやすいものにしていきたいと考えている。

■平成22年度川西市一般会計補正予算（第2回）＜分割付託＞

問 今回の補正では、参画と協働のまちづくり推進会議の委員報酬として33万9000円が予算化されようとしているが、委員構成や会議の開催予定について伺いたい。

答 この推進会議の委員構成は、学識経験者2人、市民公益活動団体の代表者5人、市民2人、事業者1人の計10人としている。
 会議は、今年度中に3回の開催を予定しており、年内に1回目の会議を開催できるよう、10月に広報誌やホームページ等を通じて市民2人の公募を行うなど、委員の選任を進めていく考えである。

今期定例会において、請願等を除き常任委員会で審査された議案は、総務委員会2件、文教公企委員会1件、厚生経済委員会2件、建設委員会2件、四つの委員会に分割付託された補正予算案1件の計8件です。
 ここでは、各委員会の審査における質疑などの一部について、その要旨を掲載しています。

市立幼稚園^{設置管理}条例の一部改正で論議 “ふたば幼稚園”平成24年3月末で廃園 文教公企常任委員会

■川西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、平成24年4月から、市立ふたば幼稚園を市立加茂幼稚園に統合し、統合後の加茂幼稚園において、新たに3歳児保育を実施しようとするものである。

問 両幼稚園の統廃合について、保護者の理解を得るため、市が行った取り組みを伺いたい。

答 各園の保護者には、計4回の説明会を開催したほか、地域の自治会長への説明も行っている。
 しかし、ふたば幼稚園の保護者からは、統廃合の方針発表後、約3カ月間での慌て急いだ議案提出であるとの指摘も受けており、今後意見交換の機会を設け、幼稚園教諭も交えた中で、必要な対応をしていきたいと考えている。

問 統合後の加茂幼稚園で、新たに3歳児保育を実施しようとする考えについて伺いたい。

中央北地区土地区画整理事業施行条例の制定で論議 建設常任委員会

■阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業の施行に関する条例の制定について

本案は、市が中央北地区において、土地区画整理事業を施行するに当たり、法律の規定に基づき、費用の負担や保留地の処分方法など、細則となる規程を定めるものである。

問 一定規模以上の市有地を処分する際は、議会の議決が必要であるが、地区内には、多くの市有地があるにもかかわらず、土地区画整理法の規定により、この土地が含まれる保留地の売却には、議決が不要とされている。

そこで、このような規定が設けられている考え方を伺いたい。

答 保留地は、地区内の土地所有者から公平に少しずつ提供（減歩：げんぶ）された土地のうち、施行者が売却して事業費の一部に充て



答 本市の幼稚園教育振興計画では、3歳児保育の実施は、私立幼稚園に委ねるとしているが、市南部に私立幼稚園がないため、この統合を機に、要望のあった3歳児保育を公立幼稚園で実施するものである。
 ◇ ◇ ◇

反対意見 園児や保護者を無視した拙速な政策決定で、市はふたば幼稚園の廃園でなく、実情に応じた教育を実施すべきであり、賛成できない。
賛成意見 保育ニーズに対応し、南部での3歳児保育実施を評価する。
 今後は、幼児教育に係る基本的な方針を早急に示すよう要望し、本案に賛成する。

る土地であるため、市が所有している土地とは別の性格のものである。
問 諮問機関として設置される土地区画整理審議会の委員構成やその選出方法について伺いたい。

答 審議会の委員定数は10人で、内訳は、権利者の代表が8人、市長選任の学識経験者が2人である。
 権利者の代表は、地区内の宅地所有者と借地権者の総数の割合に比例するよう委員数を定めることとされており、それぞれ別に選挙することを規定している。
 ◇ ◇ ◇

反対意見 中央北地区整備事業は、一部の市民のために巨額の公金を投じる不公平なものであり、賛成できない。
賛成意見 この条例は、公平・公正に土地区画整理事業を行うため、骨格をなすものであり、本案に賛成する。

審 議 案 件			
<p>■全員賛成■ ＜条例の一部改正＞ ○川西市消防団員等公務災害補償条例（総務） ○平成22年度川西市一般会計第2回補正（各委分割付託） ○平成22年度川西市老人保健事業特別会計第1回補正（厚生経済） ○平成22年度川西市介護保険事業特別会計第1回補正（同） ＜決 算＞ ○平成21年度川西市水道事業会計決算認定（公企会計決算特別委） ○平成21年度川西市病院事業会計決算認定（同） ○平成21年度川西市下水道事業会計決算認定（同）</p>			
<p>＜その他＞ ○災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車・I－A型の買入れ（総務） ○市道路線の認定（建設） ○まちづくり調査特別委員会の調査事項の変更 ■賛成多数■ ＜条例の制定＞ ○阪神間都市計画事業中央北地区特定土地区画整理事業の施行に関する条例（建設） ○川西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例（文教公企） ■継続審査■ ＜決 算＞ ○平成21年度川西市一般会計決算認定（一般会計決算特別委） ○平成21年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定（特別会計決算特別委） ○平成21年度川西市老人保健事業特別会計決算認定（同）</p>			
<p>○平成21年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定（同） ○平成21年度川西市農業共済事業特別会計決算認定（同） ○平成21年度川西市介護保険事業特別会計決算認定（同） ○平成21年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定（同） 【請 願】 ■採 択■ ○公共交通（けやき坂地区）の利便性向上を求める請願書（総務） ■不採択■ ○兵庫県教育委員会に対し「伊丹学区を他学区と統合しないことを求める意見書」の提出を求める請願（文教公企） 【市長からの報告】 ○平成21年度川西市水道事業会計予算継続費精算報告 ○平成21年度川西市一般会計予算継続費精算報告 【注】（ ）は付託された委員会です。</p>			

傍聴にお越しください

川西市議会では、本会議はもとより、議会運営委員会、常任・特別委員会など、すべての会議を公開していますので、ぜひ傍聴にお越しください。

また、これらの会議録は、市議会事務局や中央図書館などのほか、下記の市議会ホームページでもご覧いただけますので、ご利用ください。

次の定例会は、11月下旬から開かれる予定です。

会議の開催日程などは、市議会事務局（TEL：740-1255）にお問い合わせいただくか、市議会ホームページ（<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>）をご覧ください。